

「創立から現在、そしてこれからの TOTO」をお伝えする場として建設  
**本社・小倉第一工場の「新複合施設棟」着工**  
～省エネルギー化を促進した建物とし、環境貢献を図る～

TOTOは本社・小倉第一工場(北九州市小倉北区)敷地内に新たな施設として計画中の「新複合施設棟(仮称)」について、本日10月7日(月)起工式を執り行い、新築工事に着手しました。

新複合施設棟(仮称)は、TOTO歴史資料館および北九州ショールーム、研修センター、ホール等をひとつの建物に集約し、「創立から現在、そしてこれからのTOTO」をお伝えする場として活用します。お越しいただくお客様およびお取引業者様、地域の方々との接点として、また創業の地「小倉」から世界へTOTOブランドを発信するランドマークとして魅力ある施設を目指しています。

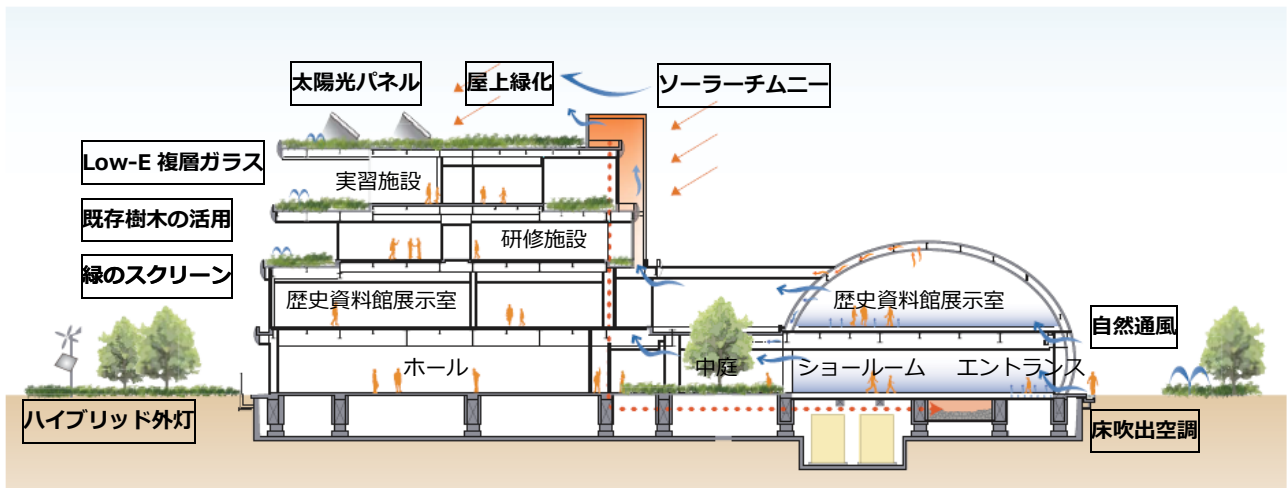


完成イメージ

#### ■建物の特長

##### 環境に配慮し、自然エネルギーなどの有効活用で省エネルギー化を促進

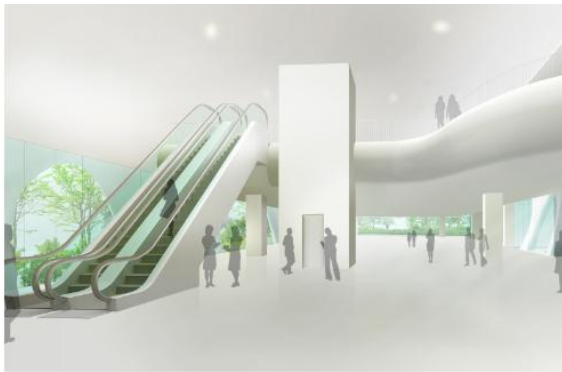
自然エネルギーを最大限に活用すると共に、およそ100の環境手法を用いて、環境にもお客様にも配慮した建物を目指します。具体的には、屋上緑化、Low-E複層ガラス(断熱・日射熱低減性能のあるガラス)などにより、空調負荷を徹底的に抑制し、エネルギーロスを削減。またTOTOの環境浄化技術「ハイドロテクト(※1)」を施した内外装を採用します。さらにエネルギーマネジメントシステム(※2)や太陽光パネル、ソーラーチムニー(※3)等、各種省エネ設備を導入。地域の自然環境と呼応する施設として、TOTO GREEN CHALLENGE(※4)を実践します。



断面イメージ

**省エネ性と快適性を両立させた室内環境空間を実現**

自然採光や床吹出空調などを採用した開放感のある明るく快適な展示空間を実現。冬季には集熱した暖気を蓄熱して暖房に活用します。また、エントランスのダイナミックな吹き抜けや中庭により、開放感のある明るい空間を演出します。



エントランスイメージ



ショールームイメージ



歴史資料館イメージ

**「緑豊かな大地」と「水滴」をイメージした建築デザイン**

建物は「緑豊かな大地」と「水滴」をイメージしてデザイン。水は雨となり大地を潤し、すべての生命をまもり育てます。この「大地」と「水」を象徴した建物デザインを通して、TOTOは人と地球のまいにちに潤いをもたらす環境づくりに貢献するというメッセージを表現しています。



## ■建設計画の概要

### <工事概要>

名称	新複合施設棟(仮称)
所在地	北九州市小倉北区中島2-1-1(TOTO本社・小倉第一工場敷地内)
施主	TOTO株式会社
設計監理	株式会社 梓設計
施工	鹿島建設 株式会社
内装設計・施工	株式会社 丹青社
建築工期	2013年10月～2015年7月(予定)
総工費	約60億円

### <建築概要>

建物用途	TOTO歴史資料館、北九州ショールーム、研修センター、ホールなど
構造	鉄骨造
階数	地上4階
敷地面積	9,388㎡
延床面積	11,061㎡



#### <※1:環境浄化技術「ハイドロテクト」>

ハイドロテクトは、光触媒を利用して地球も暮らしもきれいにするTOTOの環境浄化技術です。現在、国内外を問わず多くのお客様にご活用いただいております。室内の壁や床から建物の外壁まで、さまざまな製品が生活環境の中で利用されています。

詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.toto.co.jp/products/hydro/>

(※2)エネルギーマネジメントシステム: エネルギーの使用状況を適切に把握・管理し、削減につなげるシステム。

(※3)ソーラーチムニー: 煙突効果により中間期の自然換気を促し、冬季は集熱装置として暖気を暖房に利用。



#### <※4:環境ビジョン「TOTO GREEN CHALLENGE」>

TOTOは創立100周年を迎える2017年に向け、「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の3つの軸と、それらを支える「ひとづくり」で、新しい環境貢献目標にチャレンジします。

詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.toto.co.jp/greenchallenge/>